

Let's Challenge!

JICA海外協力隊「環境教育」

JICA海外協力隊とは？

開発途上国の人々のために貢献したいという意欲を持った方を公募し、原則2年間ボランティアとして派遣する制度です。

文化慣習の異なる現地の人々と相互理解を図りながらの活動は、現地への貢献とともに、草の根外交として国際交流を深める場であり、自分自身の枠を広げ、豊かな視野と行動力を育む「現場主義」の成長の場です。



あきらめずに、準備して、チャレンジしよう！

◆途上国の環境問題◆

生活の変化とともに、ゴミが急激に増加しているにもかかわらず、ゴミ処理サイクル、ゴミに対する生活習慣が伴わず、非常に不衛生な処分法が一般的です。河川や湿地、海洋など水場の汚染も深刻で、感染症の主要な原因となっていることも多くあります。

また、自然資源は、それ自体が重要な生態的な価値を持つと同時に、人々の生活基盤となるものですが、人口増加・生活形態の変化・開発・気候変動などの影響によって急速に劣化・枯渇が進んでいます。

◆環境教育隊員の活動◆

派遣先は、ゴミ問題や環境教育に取り組む地方自治体やNGO、自然公園や国立公園などです。地域の環境課題に対して“教育”という視点から、現地の人とともに活動を展開していきます。

たとえば・・・

- ・学校への出前授業や各種研究会の実施
- ・環境キャンペーンやイベント実施
- ・教材開発、広報啓発ツールの作成普及
- ・指導者の育成・強化
- ・環境グループの組織
- ・環境関連小規模ビジネス
- ・ゴミ回収システム改善の提案 など



◆応募前に◆

環境や国際関連の研修/イベントに積極的に参加してください。

《関連する研修等を行っている団体例》

- ・日本シェアリングネイチャー協会
- ・日本環境教育フォーラム
- ・ジャパンGEMSセンター
- ・KEEP協会環境教育事業部
- ・地球環境パートナーシッププラザ
- ・インタープリテーション協会
- ・人の森
- ・国際理解教育センター
- ・開発教育協会
- ・特定非営利活動法人ムラのミライ

《参考になる展示施設》

- ・八ヶ岳自然ふれあいセンター(山梨県)
- ・やまねミュージアム(山梨県)
- ・田貫湖自然ふれあいセンター(静岡県)
- ・裏磐梯ビジターセンター(福島県)
- ・京エコロジーセンター(京都府)

《活動》

主催者/スタッフ側の経験もすると、企画の作り方、指導や運営のあり方、人のつなぎ方など、様々な視点で学べます。

また、どんな小さなことでもあなた自身が周囲に働きかけて何かを始めてみてください。ゼロからイチを産み出す大変さとその過程で起きる様々なコトを経験することが現地で直面する様々な課題への突破力になります。

※JICA海外協力隊派遣者用プログラムがある大学や専門学校もあります。

◆求められる力◆

机上の知識よりも

コミュニケーション力、課題発見力、創意工夫力、リーダーシップ、企画や営業、アートのスキル等人生の中で培ってきたさまざまな力。

ポジティブな思考とチャレンジ精神があれば、知識や技量は出発前や現場で悪戦苦闘する日々で磨かれていきます。

＜活かせる経験＞

- ・環境教育、教育分野での活動
- ・ゴミや衛生関連での活動
- ・企画・運営、営業、広報、資金調達
- ・リーダーシップやチームワークづくり
- ・ファシリテーション、コーディネーション
- ・HP、教材、広報ツールなどの制作
- ・音楽、絵画、演劇などの表現活動
- ・異文化交流活動
- ・各種ボランティア活動 など

◆お薦めサイト◆

活動をもっとイメージし、「求められる力」を想像してください。

- ・JICA海外協力隊
- ・JICA海外協力隊の世界日記
- ・JICA海外協力隊の人とシゴト
- ・JICA青年海外協力隊事務局公式チャンネル
- ・JICA 青年海外協力隊事務局公式Facebook
- ・青年海外協力協会
- ・環境教育OV会
- ・Web応募説明会 →→



◆合格後のサポート◆

出発までに、日本の経験、途上国の現状、コンポスト手法、マネージメント、様々な環境教育手法を学ぶ研修の機会があります。



独立行政法人 国際協力機構